

# 川崎市議会議員 いわくまちひろ 教育への投資を実現！

民進みらい川崎市民議団  
連載No.104

## 英語学習環境の整備

政府が2020年東京オリンピックに向けて英語教育を加速度的に進める中、次期学習指導要領が先行実施される18年度までに公立校における英語学習環境の整備と予算確保を求めました。

私が、毎年予算議会ですら導入されません。

私が、毎年の予算議会ですら導入されません。

私が、毎年の予算議会ですら導入されません。私が、毎年の予算議会ですら導入されません。

次年度からは、小学校では5

先生を増員すること、学校の英語学習が拡大することに対する教員へのサポートとしての人材確保です。

次年度は、ALIT 10名を増員し合計91名。また、新規事業として、**小学校英語強化教員15名**を確保

しました。川崎市の公立校における英語教育については、まだまだ発展途上です。市が実施している事業を単に議会で取り上げるだけでなく、自らの専門分野を生かして具体的な政策提言と予算確保に今後努めて参ります。

ひとり親家庭等生活・学習支援事業

3年前、多摩川の河川敷で中学生殺害事件が発生しました。以来、川崎市は、子どもの貧困対策や児童虐待・非行対策については全国のトップランナーであるべきというのが私の持論です。

平成28年の予算議会(3月)において、「市は国の補助金メニューを積極的に活用し、子どもの貧困対策に繋がるひとり親家庭への生活・学習支援を充実すべき」と提案しました。当時、厚

労省の補助金メニューを隅々まで調査し、また市が活用していないものを発見したからです。議会での提言から1年半程度経過しましたが、昨秋より事業が試行実施され次年度より本格実施となります。



川崎市議会議員 いわくまちひろ  
●昭和50年生まれ 43歳  
●英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学  
●国際派議員として、子どもから大人まで英語とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！(11年5ヵ月)

強化教員15名を確保

また、厚労省の補助金メニューを隅々まで調査し、また市が活用していないものを発見したからです。

議会での提言から1年半程度経過しましたが、昨秋より事業が試行実施され次年度より本格実施となります。